

2021年度「北海道女性研究者の会」総会議事録

(メールと郵送およびZoomによる総会)

2021年9月20日

「北海道女性研究者の会」世話人会

2021年度の総会は新型コロナウイルス感染が収束していないため、9月8日のZoomによるオンライン講演会後にオンラインで総会を開催した。当日参加できない会員のためにメールまたは郵便(メール未登録者)で議案書を送付し、欠席者については8月31日締切で議案についての可否を尋ねた。オンライン総会の審議とも合わせ、議案について下記の通り承認された。

1. 2020年度活動報告(2020年4月～2021年3月)

1) 2020年度の総会

新型コロナウイルス感染が収束しないため、総会をメールと郵送で実施し、2020年度の活動方針が以下のように承認された。

(1) 2021年度～2022年度の代表と副代表

2020年度総会の承認に基づき、代表と副代表を下記の通り選出した。

共同代表：新國三千代(元札幌学院大学、2期目)、森谷絜(北海道大学名誉教授、2期目)

共同副代表：石井智美(酪農学園大学、2期目)、増地あゆみ(北海学園大学、2期目)、

山舗直子(元酪農学園大学、1期目)

(2) 第75回例会の開催について

新型コロナウイルス感染が収束しないため、2021年度に延期する。

(3) 通信76号の発行と特集企画について

通信編集責任者から通信76号を予定通り発行したこと、特集企画のテーマを募集した結果、「新型コロナ危機を経験して～強く感じたこと、見えてきたこと、未来への希望～」を取り上げるようになった旨の報告があった。その後、提案者1名と世話人会メンバ4名でワーキング・グループを立ち上げて内容の検討を行った結果、原稿の依頼と自由投稿および調査票による方法で会員の声(会員外も含む)を募ることになり、依頼原稿4件、自由投稿3件、会員(会員外も含む)の声15件という多くの声が寄せられた。

(4) ISSN日本センターへの既刊通信の納本の進展について

新たに2名の既刊号執筆者と連絡がとれ、納本について同意されたことから、2020年6月に通信63号、61号、60号下、60号、59号の5冊を納本した(2019年度の総会の決定に則る)。

(5) 財政逼迫改善のために会員に対する寄附依頼活動を継続している。

寄附を頂いた方にはお礼として40周年記念事業で作成したクリアファイル謹呈している。

2) 会員の異動

2名の入会があった。

2. 2021年度活動方針

1) 2021年度の世話人会の構成を下記の通りとする(所属は最初のみ掲載、敬称略)。

共同代表：新國三千代(元札幌学院大学、2期目)、森谷絜(北海道大学名誉教授、2期目)

共同副代表：石井智美(酪農学園大学、2期目)、増地あゆみ(北海学園大学、2期目)、

山舗直子(元酪農学園大学、1期目)

通信編集責任者：山舗直子

通信編集：石井智美、岡田久美子（札幌学院大学）、新國三千代、森谷 梨、山田恵子（元札幌医科大学）

メール配信：増地あゆみ

ホームページ：新國三千代

会計：山舗直子

会計監査：金澤康子（天使大学）、宮下洋子（元北海道文教大学）

選挙管理委員：岡田久美子

アドバイザー：山田恵子（元札幌医科大学）、小坂みゆき（北海道大学）

なお、共同代表と共同副代表については昨年度の総会で承認を得ている。いずれも任期は2021～2022年度の2年で、2期目の代表および副代表は規約により、継続して3選に及ぶことはできない。

2) 第75回例会（公開講演会）と総会の開催について

新型コロナウイルス感染が収束しないため、昨年度延期された例会（公開講演会）を下記の通り、Zoomによるオンライン講演会の形で実施する（詳細は資料1のポスター参照）。

日時：2021年9月8日（水）15時～16時30分

講演タイトル：「制御不能をもたらす天災とその影響～巨大地震から新型コロナウイルス感染症まで～」

講演者：磯貝恵美子（東北大学名誉教授）

参加方法：参加希望者は、連絡先メールアドレスを下記宛連絡。参加（閲覧）方法については別途お知らせする。

申込先：hw-mail@hw-rscher.sakura.ne.jp（代表）

申込締切：8月25日（水）

後援：札幌市教育委員会、北海道教育委員会

広報協力：日本女性科学者の会（SJWS）東北ブロック、北海道新聞札幌10区、北海道女性協会、北海道大学 人材育成本部ダイバーシティ研究環境推進室

当日の参加申込者は27名（会員13名、会員外14名、道外からも参加申込有り）、実際のZoom参加者は22名であった。

なお、講演者の承諾を得てZoom上で講演を録画したが、質疑応答については参加者も録画されるため録画記録としては残さないことにした。講演者から録画は自由に使用してもよいとお申し出があり、録画の取り扱いについて世話人会で検討することにした。

講演会に引き続き、総会をZoomによるオンラインで開催した。Zoom参加者は12名、その他はメール返信者が1名であった。

3) 2020年度決算報告と監査報告

会計担当者から、資料2に基づき2020年度の決算報告があり、下記の補足があった。

年会費について、前年度まで「不足分」と別に分けて小計していたものを、3つの年会費カテゴリーごとに小計した。小計に端数が生じた場合は小数点表記（例えば、1件の入金額が5000円の場合、小計では2.5年分として算入し、また、0.5年分の額の振り込みが2件あれば、小計で1年分として算入している）とした。

また、通信の追加希望の販売額は通信印刷代の支出額に基づいた金額となり、通信76号は1冊700円になった（通信75号は1冊500円）。支出に記した次年度繰越金は、当年度とほぼ同じ額となっている。

会計監査については、金澤康子会員と宮下洋子会員のお二人の監査が欠席のため、会計担

当者から「会計帳簿の記載は正確で、会計処理等はすべて適正で決算書に相違がないことをお認めいただいた」旨の報告があった。

4) 通信77号の特集企画と通信の発行

6月に特集企画のテーマを募集し、「ポストコロナ時代を見据えて」(仮題)を特集企画のテーマとして取り上げることになった。提案者2名と世話人会メンバー3名でワーキング・グループを結成し、内容について検討した結果、(A)題目を決めて募集または依頼する原稿と(B)自由投稿および調査票により会員の声を募るという2つの方法で原稿を集めることになった。(A)の題目と執筆者(敬称略)、タイトルは下記の通りである。

序文：落合滋子

(人口問題)「コロナ禍における人口動態(現状と展望):性別・年齢別・地域別(仮題)」 田畑朋子

(ジェンダー平等)「17分の1ではなく×17 SDGsをコンテキストとしたジェンダー平等について」 林美枝子

(食糧問題)「いきものと食(仮題)」 石井智美

(環境問題)「現代の地球環境問題と私達の生活～公正で持続可能な解決策を求めて～(仮題)」 森谷 紜

(感染症・健康問題)「新型コロナウイルス感染症と感染拡大から見えて来た様々な健康問題(仮題)」 山田恵子

(戦争と平和 + 人権問題)「平和的生存権の意義(仮題)」 前田輪音

なお、特集企画の原稿締切は9月末を予定しているが、特集以外の原稿の締切は10月末である。また、通信77号は前号と同様のスケジュールで発行する予定で作業を進めている。

5) 2022～2023年度会計監査の選出

金澤康子会員(天使大学)と岩原宏子会員(東海大学非常勤)にお願いすることになった。

6) 2022年度公開講演会(第76回例会)の講演者

山部秀子会員(札幌保健医療大学・栄養学)に、「北海道の食文化」をテーマにした講演をお引き受けいただいた。

公開講演会の開催について、山田恵子会員から「今後もZoomと対面のハイブリッドで開催してもらえると遠くからでも参加できてありがたい」とのご意見があり、今後もハイブリッド開催を継続する方向を確認した。

7) 寄附の依頼活動の継続

2016年度から財政改善のために会員に対する寄附のお願いをしているが、2021年7月末現在延べ50名の会員から153,100円の寄附をいただいた。寄附して下さった会員のみなさまに感謝すると共に今後も引き続き寄附の依頼活動を継続する。寄附して下さった方にはお礼として40周年記念事業(2015年11月実施)で作成したクリアファイル(現在の残部:22部)を謹呈している。

8) 本会有志で「日本学術会議会員任命拒否」に抗議する共同声明を発表

2020年12月に北海道ジェンダー研究会、北海道女性研究者の会有志、札幌女性史研究会で「日本学術会議会員任命拒否」に抗議する共同声明を出した。経緯の詳細と声明文については、本会ホームページ(<http://hw-rscher.sblo.jp/>)の「お知らせ」欄に、2021年2月16日付けで「日本学術会議会員任命拒否」に抗議する共同声明(経過と最終声明文のお知らせ)」と題して掲載している。